

協業でデニムのバッグ製造

テキスタイルデザイナー塩谷氏と提携

備後燃糸

水燃り製法という独自技術で燃った和紙糸を緯糸に使ったデニムを手掛ける備後燃糸（福山市、光成猛社長）はこのほど、テキスタイルデザイナーの塩谷英一氏（京都在住）とのコラボレーションで、

独自ルートで販売へ

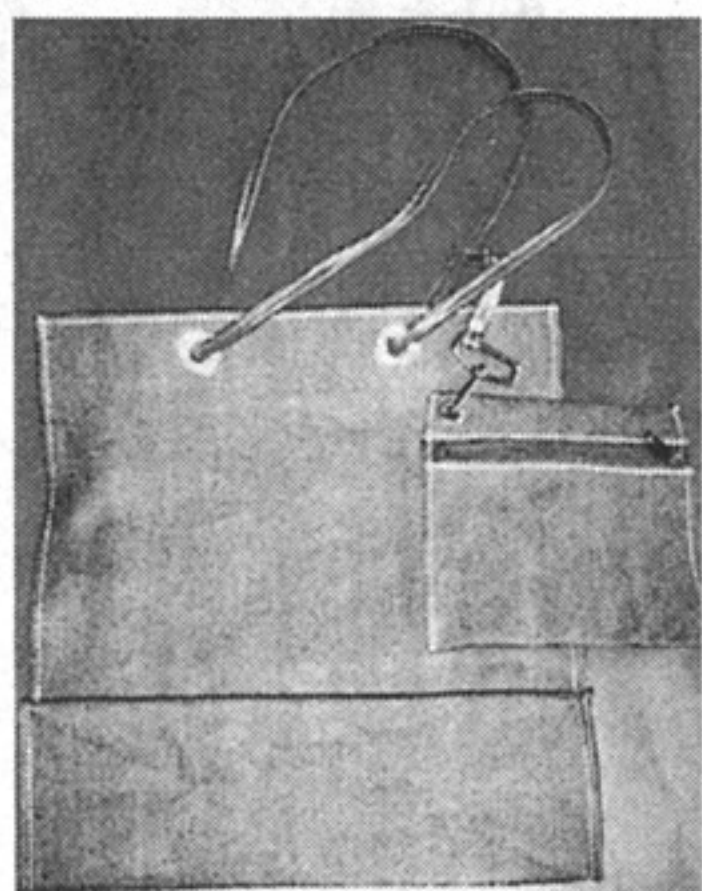
水燃り製法は、同社が約7年かけ開発した独自製法。製糸メーカーから仕入れた和紙をスリット状に加工、これを水分を乾燥させずに、安定的に浸しながら燃りをかける。非常に軽く、また毛羽がないため肌に優しい上、旧型の力織機で織られているので、独特の風合いとデニム特有の色落ちが楽しめる。

この新素材に着目した塩谷氏は、テキスタイルデザイナーとして洋装、和装、インテリアの幅広い分野で活躍する一方、京都もの創り作家の会の副理事長、神戸松蔭女子学院短期大学の講師なども兼務する。著名婦人服

この和紙糸を使用したバッグを商品化した。20〜30代の高級ゾーンを狙い、「B∞N LIGHT (STAR) ーブーンライト (スター)」のブランド名で、卸・小売りルートに販売する。今年で創業80年を迎える記念事業の一環で、同社のアパレルのジーンズ企画、服飾製品での採用が相次いだ実績を生かしていく考え。

ブランドの服地デザインをはじめ、ユニクロのTシャツのデザイン、アダム&イブの振袖やゆかたのデザインなど、幅広いデザインを持ってきた。同社では塩谷氏とのコラボレーションで、デザインと商品化、ブランド開発（ブーンライト糸の燃り加工を表す∞のマークは、永遠、発展を意味、LIGHTは会社の将来が明るいものになるようにとの思いが込められている）、販促プロモーションなど多岐にわたるアドバースを得ている。

この新素材に着目した塩谷氏は、テキスタイルデザイナーとして洋装、和装、インテリアの幅広い分野で活躍する一方、京都もの創り作家の会の副理事長、神戸松蔭女子学院短期大学の講師なども兼務する。著名婦人服



バッグのデザインは11パターンを制作、参考上代は手描き加工などを施した3万5000〜5万円を主力に、今後は1万〜2万円台も提案する。来年の1〜3月にかけて展示会を予定。「バッグは手作りの良さを追求している。素材の持ち味を生かし、既存のルートにこだわらない販路開拓に注力している。サンプルの反応は上々で、来年デニム素材使いバッグの斬新さが評判

から本格的に販売できる体制にしたい（塩谷氏）。また、同社の光成浩課長は「ジーンズ以外の関連アイテムの開発を、これまでのアパレルでのジーンズ企画の経験と実績

を生かし、取り組んできた。和紙糸のジャケットやカーディガン、タオルなどの製品のほか、今回のバッグ、また帽子、靴などアイテムの広がりも期待できる」と話す。シ

ルク混や和紙デニム生地、和紙帆布生地など、薄いものから厚いものまでバリエーションに富んだ素材開発も進んでおり、様々なタイプの商品開発を可能としている。